



2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月12日

上場会社名 株式会社DDホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3073 URL https://www.dd-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 厚久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 樋口 康弘 TEL 03-6858-6080
 四半期報告書提出予定日 2018年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第2四半期の連結業績 (2018年3月1日～2018年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	25,830	23.9	1,240	△22.8	1,198	△25.7	978	△10.2
2018年2月期第2四半期	20,851	39.3	1,607	184.2	1,612	201.7	1,090	283.1

(注) 包括利益 2019年2月期第2四半期 355百万円 (△70.9) 2018年2月期第2四半期 1,221百万円 (514.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	127.91	—
2018年2月期第2四半期	143.09	142.95

(注) 2019年2月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期第2四半期	28,045	6,209	20.3	742.66
2018年2月期	27,653	5,981	20.3	732.97

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 5,682百万円 2018年2月期 5,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2019年2月期	—	0.00			
2019年2月期 (予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年2月期の連結業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,078	13.3	2,529	14.7	2,597	16.8	1,402	38.8	183.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.11「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期2Q	7,821,360株	2018年2月期	7,821,360株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	169,294株	2018年2月期	169,294株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期2Q	7,652,066株	2018年2月期2Q	7,617,849株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
（1）四半期連結貸借対照表	6
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	
（継続企業の前提に関する注記）	11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	11
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	11
（セグメント情報）	12
（重要な後発事象）	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 第2四半期連結累計期間の全社業績

(単位：千円、%)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	20,851,889	25,830,007	4,978,118	23.9
営業利益	1,607,351	1,240,678	△366,672	△22.8
経常利益	1,612,951	1,198,495	△414,455	△25.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,090,060	978,787	△111,273	△10.2
営業利益率	7.7	4.8	△2.9ポイント	

当第2四半期連結累計期間（2018年3月1日～2018年8月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しており、個人消費も底堅く推移いたしました。しかしながら、一部の国や地域における情勢悪化や貿易面での不安定さが浮き彫りとなり、先行きの不透明感が拭えない状況となりました。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの店舗展開状況につきましては、11店舗の新規出店、5店舗の業態変更、5店舗の退店により直営店舗数は431店舗となりました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高25,830,007千円（前年同期比23.9%増）、営業利益1,240,678千円（前年同期比22.8%減）、経常利益1,198,495千円（前年同期比25.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は978,787千円（前年同期比10.2%減）となりました。

② 第2四半期連結累計期間のセグメント業績

『飲食事業』

(単位：千円、%)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	16,509,873	21,164,191	4,654,317	28.2
セグメント利益	2,033,175	1,733,961	△299,214	△14.7
セグメント利益率	12.3	8.2	△4.1ポイント	

当第2四半期連結累計期間における飲食事業は、従前どおり既存ブランドのブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるブランドポートフォリオ拡充のための業態開発にも注力してまいりました。

主な出店状況につきましては、株式会社ダイヤモンドダイニングにおいては「薩摩ごかもん」の5店舗目を大阪市北区、「GLASS DANCE」の7店舗目を東京都中央区に出店し、株式会社ゴールデンマジックにおいては「九州熱中屋」を大阪府枚方市並びにさいたま市浦和区に2店舗出店するなど既存ブランドの出店を複数店舗展開いたしました。また、株式会社ゼットンの子会社であるZETTON, INC. においてはハワイで4店舗目となる和食レストラン&バー「ZIGU」並びに5店舗目となるアイランドフレンチ「PARIS. HAWAII（パリハワイ）」をハワイ州ワイキキに出店するなど首都圏以外の地域や海外での出店にも力を入れてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の店舗展開状況につきましては、11店舗の新規出店、5店舗の業態変更、5店舗の退店により、計376店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は21,164,191千円（前年同期比28.2%増）、セグメント利益は1,733,961千円（前年同期比14.7%減）となりました。

『アミューズメント事業』

(単位：千円、%)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	4,342,016	4,665,816	323,800	7.5
セグメント利益	865,270	919,886	54,615	6.3
セグメント利益率	19.9	19.7	△0.2ポイント	

当第2四半期連結累計期間におけるアミューズメント事業は、各店舗において各種キャンペーンを継続的に実施するとともに、一部の店舗においてはダーツ機の最新機種「DARTSLIVE3」の導入を開始いたしました。

また、店舗内で複数コンテンツを楽しんでいただくための回遊性の向上にも継続して注力してまいりました。

さらに複合カフェにおいては、シアタールームの充実やブース改修等の設備強化を進めるなど、アミューズメント事業各店において新規顧客の獲得並びに既存顧客の満足度向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の店舗展開状況につきましては、前連結会計年度末から変更は無く55店舗であり、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,665,816千円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は919,886千円（前年同期比6.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

連結貸借対照表 要約

(単位：千円、%)

	前連結会計年度	当第2四半期	増減額	増減率
総資産	27,653,048	28,045,903	392,854	1.4
純資産	5,981,215	6,209,563	228,347	3.8
自己資本比率	20.3	20.3	+0.0ポイント	

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ392,854千円増加し、28,045,903千円となりました。主な要因といたしましては、投資有価証券が1,320,674千円減少したものの、現金及び預金、預け金がそれぞれ1,574,507千円、289,608千円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ164,507千円増加し、21,836,339千円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金、繰延税金負債がそれぞれ1,050,000千円、381,933千円減少したものの、長期借入金、買掛金がそれぞれ1,250,200千円、346,444千円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ228,347千円増加し、6,209,563千円となりました。主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が751,711千円減少したものの、利益剰余金、非支配株主持分がそれぞれ864,006千円、154,196千円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが2,239,917千円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが134,785千円の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが191,867千円の資金減となりました。

また、現金及び現金同等物に係る換算差額18,210千円の資金減を含めた結果、前連結会計年度末と比べ1,895,053千円増加し、6,688,161千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は2,239,917千円（前年同期は1,603,966千円の獲得）となりました。主な要因といたしましては、投資有価証券売却損益が691,955千円あったものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増減額がそれぞれ2,033,452千円、583,379千円、346,673千円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は134,785千円（前年同期は1,781,927千円の使用）となりました。主な要因といたしましては、投資有価証券の売却による収入が832,830千円あったものの、有形固定資産の取得による支出、短期貸付けによる支出、差入保証金の差入による支出がそれぞれ652,165千円、200,100千円、109,274千円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は191,867千円（前年同期は1,529,167千円の獲得）となりました。主な要因といたしましては、長期借入れによる収入が2,970,000千円あったものの、長期借入金の返済による支出、短期借入金の純増減額、社債の償還による支出、配当金の支払額がそれぞれ1,777,197千円、1,050,000千円、160,000千円、126,450千円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年4月13日付「平成30年2月期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては他社の国際会計基準（IFRS）適用の動向等を踏まえた上で、国際会計基準（IFRS）の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,737,014	6,311,521
売掛金	596,107	765,607
預け金	358,714	648,323
商品	21,457	23,011
原材料及び貯蔵品	330,156	343,552
前払費用	852,971	913,294
未収入金	402,185	190,202
繰延税金資産	236,063	217,855
その他	185,477	491,616
貸倒引当金	△5,999	△8,174
流動資産合計	7,714,150	9,896,809
固定資産		
有形固定資産		
建物	17,529,889	17,791,394
減価償却累計額	△8,694,952	△9,000,565
減損損失累計額	△2,546,724	△2,501,457
建物（純額）	6,288,212	6,289,371
車両運搬具	11,566	10,932
減価償却累計額	△9,769	△9,564
減損損失累計額	△0	△0
車両運搬具（純額）	1,796	1,367
工具、器具及び備品	4,996,094	5,126,149
減価償却累計額	△3,698,141	△3,839,816
減損損失累計額	△358,025	△345,393
工具、器具及び備品（純額）	939,928	940,939
土地	148,859	148,859
リース資産	726,395	704,183
減価償却累計額	△614,259	△605,111
減損損失累計額	△72,083	△68,303
リース資産（純額）	40,052	30,768
建設仮勘定	186,946	132,299
有形固定資産合計	7,605,796	7,543,606
無形固定資産		
のれん	3,120,039	3,052,736
商標権	19,458	17,329
ソフトウェア	89,380	99,946
その他	10,660	10,789
無形固定資産合計	3,239,538	3,180,801
投資その他の資産		
投資有価証券	1,980,742	660,068
長期前払費用	181,297	164,752
差入保証金	5,452,505	5,509,701
繰延税金資産	946,305	708,794
その他	239,295	120,553
投資その他の資産合計	8,800,146	7,163,870
固定資産合計	19,645,481	17,888,278
繰延資産		
開業費	293,416	260,814
繰延資産合計	293,416	260,814
資産合計	27,653,048	28,045,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,289,967	1,636,411
短期借入金	3,100,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	3,489,496	3,428,183
1年内償還予定の社債	200,000	80,000
未払費用	1,459,109	1,632,644
未払法人税等	476,476	763,180
賞与引当金	58,609	67,706
株主優待引当金	73,875	40,552
ポイント引当金	47,553	63,333
資産除去債務	12,543	25,660
その他	1,907,994	1,723,578
流動負債合計	12,115,624	11,511,252
固定負債		
社債	50,000	10,000
長期借入金	7,306,123	8,556,323
リース債務	43,336	28,319
資産除去債務	1,589,552	1,575,165
長期前受収益	53,133	21,026
繰延税金負債	386,605	4,671
その他	127,457	129,581
固定負債合計	9,556,208	10,325,087
負債合計	21,671,832	21,836,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,384	699,384
資本剰余金	688,277	689,029
利益剰余金	3,367,423	4,231,429
自己株式	△71,732	△71,732
株主資本合計	4,683,352	5,548,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	773,895	22,183
為替換算調整勘定	151,509	112,612
その他の包括利益累計額合計	925,404	134,796
非支配株主持分	372,459	526,655
純資産合計	5,981,215	6,209,563
負債純資産合計	27,653,048	28,045,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
売上高	20,851,889	25,830,007
売上原価	4,721,521	6,271,411
売上総利益	16,130,367	19,558,595
販売費及び一般管理費	14,523,016	18,317,917
営業利益	1,607,351	1,240,678
営業外収益		
受取協賛金	59,675	64,829
受取地代家賃	18,594	37,744
その他	43,009	82,234
営業外収益合計	121,279	184,808
営業外費用		
支払利息	47,470	45,485
支払手数料	20,952	11,260
持分法による投資損失	8,314	106,394
その他	38,941	63,851
営業外費用合計	115,679	226,990
経常利益	1,612,951	1,198,495
特別利益		
投資有価証券売却益	—	691,955
固定資産売却益	6,012	4,608
受取和解金	—	215,000
段階取得に係る差益	269,612	—
特別利益合計	275,625	911,563
特別損失		
固定資産除却損	640	1,913
減損損失	73,265	39,773
解約違約金	—	8,000
訴訟関連損失	—	22,000
その他	3,432	4,919
特別損失合計	77,338	76,606
税金等調整前四半期純利益	1,811,238	2,033,452
法人税等	570,509	887,810
四半期純利益	1,240,729	1,145,642
非支配株主に帰属する四半期純利益	150,668	166,854
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,090,060	978,787

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	1,240,729	1,145,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,640	△751,711
為替換算調整勘定	△12,083	△38,896
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,046	—
その他の包括利益合計	△18,770	△790,607
四半期包括利益	1,221,958	355,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,092,835	213,196
非支配株主に係る四半期包括利益	129,122	141,837

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,811,238	2,033,452
減価償却費	514,863	583,379
減損損失	73,265	39,773
のれん償却額	54,486	96,845
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	455	2,175
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,763	9,309
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△691,955
段階取得に係る差損益 (△は益)	△269,612	—
賃貸借契約解約損	—	8,000
受取和解金	—	△215,000
訴訟関連損失	—	22,000
支払利息	47,470	45,485
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,123	△169,825
前受収益の増減額 (△は減少)	△125,369	43,684
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,930	△15,251
仕入債務の増減額 (△は減少)	134,551	346,673
その他	84,936	258,565
小計	2,199,993	2,397,312
利息及び配当金の受取額	843	1,296
和解金の受取額	—	215,000
訴訟関連損失の支払額	—	△22,000
利息の支払額	△49,353	△44,760
法人税等の支払額	△547,516	△306,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,603,966	2,239,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△2,170	30,951
有形固定資産の取得による支出	△698,697	△652,165
無形固定資産の取得による支出	△55,592	△59,248
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,045,919	—
差入保証金の差入による支出	△115,167	△109,274
差入保証金の回収による収入	122,948	34,753
長期前払費用の取得による支出	△26,191	△24,053
投資有価証券の取得による支出	—	△9,999
投資有価証券の売却による収入	—	832,830
短期貸付けによる支出	—	△200,100
資産除去債務の履行による支出	△25,910	—
その他	64,772	21,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,781,927	△134,785
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,100,000	△1,050,000
長期借入れによる収入	1,300,000	2,970,000
長期借入金の返済による支出	△1,519,406	△1,777,197
社債の償還による支出	△140,000	△160,000
配当金の支払額	△113,646	△126,450
その他	△97,779	△48,219
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,529,167	△191,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,484	△18,210
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,313,722	1,895,053
現金及び現金同等物の期首残高	4,845,419	4,793,107
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	731,869	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,891,011	6,688,161

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年3月1日 至 2017年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,509,873	4,342,016	20,851,889	—	20,851,889
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,509,873	4,342,016	20,851,889	—	20,851,889
セグメント利益	2,033,175	865,270	2,898,446	△1,291,095	1,607,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,291,095千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、2017年6月1日付で持分法適用関連会社であった株式会社ゼットン（証券コード3057、名古屋証券取引所セントレックス市場）及びその子会社2社を実質支配力基準に基づき連結子会社としたこと、また、株式会社商業藝術の全株式を取得したことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「飲食事業」のセグメント資産が8,690,641千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、撤退予定の2店舗等について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては73,265千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」において、2017年6月1日付で持分法適用関連会社であった株式会社ゼットン（証券コード3057、名古屋証券取引所セントレックス市場）及びその子会社2社を実質支配力基準に基づき連結子会社としたこと、また、株式会社商業藝術の全株式を取得したことに伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、3,144,957千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年3月1日 至 2018年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,164,191	4,665,816	25,830,007	—	25,830,007
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,164,191	4,665,816	25,830,007	—	25,830,007
セグメント利益	1,733,961	919,886	2,653,848	△1,413,169	1,240,678

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,413,169千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、撤退予定の3店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては39,773千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。